

問1 オーストラリアの自然環境と人口分布の関係について説明したものととして、最も適切なものはどれか。（2021年 千葉県公立入試 類似）

1. 広大な熱帯雨林が広がる内陸部を避け、冷涼な気候の北部に人口が集中している。
2. 国土の大部分が乾燥しているため、比較的降水量が多く気候が温暖な南東部に人口が集中している。
3. 内陸部は肥沃な温帯の平原だが、貿易の利便性を優先して西海岸の港町に人口が集中している。
4. 大陸全土に均等に雨が降るため、人口は特定の地域に偏らず全国に分散している。

問2 オーストラリアの輸出構造において、1960年代には羊毛や小麦などの農産物が大きな割合を占めていましたが、近年は鉄鉱石や石炭などの鉱産資源が輸出の柱となっています。このような変化が起きた背景として最も適切な説明を選びなさい。（2019年 埼玉県公立入試 類似）

1. 日本や中国など、アジア諸国の経済発展と工業化に伴い、鉄鋼生産のための原料やエネルギー資源の需要が高まったため。
2. 世界的な異常気象によってオーストラリア全土で農業が衰退し、輸出できる農産物がほとんど生産できなくなったため。
3. アジア太平洋経済協力会議（APEC）の合意により、オーストラリアは農産物の輸出を禁止し、鉱山開発に専念することになったため。
4. ヨーロッパ諸国において羊毛製品の関税が大幅に引き上げられたため、輸出先をアジア向けの鉄鉱石に完全に切り替えたため。

問3 オーストラリアの産業について、広大な土地を活用して行われる農業と、地殻の安定した地域から産出される鉱産資源の組み合わせとして正しいものはどれですか。（2014年 沖縄公立入試 類似）

1. 小麦と鉄鉱石
2. 茶と石炭
3. 綿花と銅
4. 天然ゴムとボーキサイト

問4 ボリビアのウユニ塩湖などで採取される「リチウム」が、現代社会においてその重要性を増している理由として、最も適切な背景はどれですか。（2021年 東京都公立入試 類似）

1. 世界的な環境意識の高まりにより、電気自動車（EV）やデジタル機器に欠かせない二次電池の需要が急速に拡大したため。
2. 鉄鉱石を精錬して鋼鉄を作る際に、石炭の代わりとなる燃料として利用されることが一般的になったため。
3. プラスチック製品の原料として石油に代わる安価な代替素材として、化学工業の分野で広く活用されるようになったため。
4. 情報通信技術の発展に伴い、光ファイバーのケーブルを製造するための主原料として大量に消費されるようになったため。

問5 オーストラリアの鉱産資源の分布と貿易に関する説明として、最も適切な記述はどれですか。産地と資源の種類の関係に着目して選びなさい。（2023年 三重公立入試 類似）

1. 大陸東部に産地が集中している石炭は、世界の輸出量において高い割合を占め、日本のエネルギー産業にとっても重要な資源となっている。
2. 大陸東部に分布する大規模な露天掘りの鉱山では、鉄鋼の原料となる鉄鉱石が採掘され、その多くが日本へ輸出されている。
3. 大陸西部の産地から輸出される石炭は、日本のアルミニウム工業を支える重要な原料として活用されている。
4. 大陸全体で均等に産出される石油は、オーストラリアの輸出額の過半数を占め、アジア諸国へ燃料として供給されている。

問6 オーストラリアの貿易構造の変化について、1960年には輸出総額の約26%をイギリスが占めていましたが、2020年の統計では中国が40%に達し、次いで日本や韓国が上位に入りました。このような輸出相手国の変化について述べた文として、最も適切なものはどれですか。（2025年 福岡県公立入試 類似）

1. 地理的に近いアジア諸国の経済発展に伴い、貿易の軸足がヨーロッパからアジアへと移り変わった。
2. イギリスの欧州連合（EU）離脱により、旧宗主国としての経済的結びつきが1960年当時よりも強まった。
3. アメリカ合衆国の経済成長に伴い、2020年時点ではアメリカが中国を抜いて最大の輸出相手国となった。
4. 南太平洋の島々との貿易を優先するため、アジア諸国への輸出割合を意図的に引き下げた。

問7 南アメリカ大陸の西側に位置するアンデス山脈の、標高4,000mを超える高地で見られる生活の特色として、最も適切なものはどれですか。（2022年 鹿児島県公立入試 類似）

1. 温暖な気候を活かして、オリーブやブドウなどの果樹栽培が盛んに行われている。
2. 森林を焼き払って灰を肥料にする焼畑農業が行われ、主にキャッサバを栽培している。
3. 気温が低く農作物の栽培が難しいため、リャマやアルパカを飼育する放牧が行われている。
4. 広大な低湿地を干拓し、機械化された大規模な稲作によって米を生産している。

## 答え合わせ・解説

問1	<b>答え 2</b> 国土の大部分が乾燥しているため、比較的降水量が多く気候が温暖な南東部に人口が集中している。	オーストラリアの地理的特徴として、回帰線が通る内陸部は降水量が極めて少なく、居住に不向きな乾燥帯（砂漠やステップ）が広がっていることが挙げられます。一方で、大陸の南東部は偏西風などの影響で適度な降水があり、人間が活動しやすい温帯の気候となっています。この気候条件の差が、特定の沿岸地域への極端な人口集中を招く要因となっています。
問2	<b>答え 1</b> 日本や中国など、アジア諸国の経済発展と工業化に伴い、鉄鋼生産のための原料やエネルギー資源の需要が高まったため。	オーストラリアの輸出構造の変化は、世界の需要の変化と密接に関係しています。高度経済成長期の日本や、その後の中国などのアジア諸国において、工業化が進み鉄鋼業などの重工業が発展しました。その際、鉄の原料となる鉄鉱石や、燃料・原料となる石炭の需要が急増したため、広大な土地に豊富な資源を持つオーストラリアからの輸出が拡大しました。
問3	<b>答え 1</b> 小麦と鉄鉱石	オーストラリアは広大な国土と乾燥した気候に適応した大規模な農業が行われており、世界有数の小麦輸出国です。また、地質学的に安定した古い大地から鉄鉱石や石炭などの鉱産資源が豊富に採掘され、日本をはじめとする諸外国へ輸出されています。茶や綿花はオーストラリアの代表的な輸作物とは言えません。
問4	<b>答え 1</b> 世界的な環境意識の高まりにより、電気自動車（EV）やデジタル機器に欠かせない二次電池の需要が急速に拡大したため。	リチウムはリチウムイオン電池（二次電池）の主原料であり、近年のスマートフォンやノートパソコンの普及、さらには脱炭素社会に向けた電気自動車（EV）へのシフトによって、その希少価値と需要が世界的に急増しています。ボリビアは世界有数のリチウム埋蔵量を誇るため、銀などの伝統的な鉱物資源に代わる新たな国家経済の柱として期待されています。
問5	<b>答え 1</b> 大陸東部に産地が集中している石炭は、世界の輸出量において高い割合を占め、日本のエネルギー産業にとっても重要な資源となっている。	オーストラリアの主要資源である石炭と鉄鉱石は、産地が明確に分かれています。東部の古期造山帯付近では石炭、北西部の安定陸塊では鉄鉱石の産出が盛んです。石炭は燃料や製鉄用として、鉄鉱石は製鉄の原料として、それぞれ日本をはじめとする世界各国へ大量に輸出されています。地形（地質構造）と資源の分布を関連付けて理解することが重要です。
問6	<b>答え 1</b> 地理的に近いアジア諸国の経済発展に伴い、貿易の軸足がヨーロッパからアジアへと移り変わった。	オーストラリアはかつてイギリスの植民地であった歴史的背景から、1960年当時はイギリスをはじめとするヨーロッパ諸国との貿易が中心でした。しかし、イギリスが当時の欧州共同体（EC）に加盟したことで関係が変化したほか、地理的に近い日本や中国などのアジア諸国が急速な経済成長を遂げ、鉄鉱石や石炭などの資源需要が高まったため、輸出相手国がアジア中心へと大きくシフトしました。
問7	<b>答え 3</b> 気温が低く農作物の栽培が難しいため、リャマやアルパカを飼育する放牧が行われている。	アンデス山脈の高地は標高が高いために気温が低く、一般的な農作物の栽培には適していません。そのため、厳しい環境でも適応できるリャマやアルパカなどの家畜を飼育し、その毛を衣類に、肉を食用に、また荷物の運搬などに利用して生活を営んでいます。オリーブは地中海性気候、焼畑農業は熱帯、稲作は温暖で水が得やすい地域の特徴です。